

2024年。百周年に向けてカウントダウンスタート!

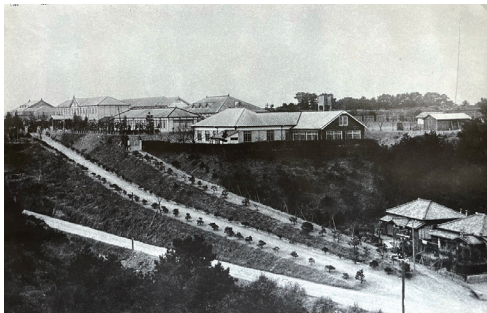
「未来につなげ知・仁・勇」



生徒による自由応募により「創立100周年記念ロゴマーク」を制作いたしました
尾上 舜さん(令和4年度卒業生)による作品です

制作者コメント

- 「100」のそれぞれに本校の校訓である「知・仁・勇(ち・じん・ゆう)」を色で表現しました。
- 「100」の「1」の部分には、本校の校章で使用しているペン先を描きました。
- 「100」の「00」の部分は、無限のマークとDNAの螺旋構造を模したものに、本校のDNAを未来に、永遠につなげていきたい、という想いを含めました。



▲創立当時の校舎



▲現在の校舎



発行人 静岡県立浜松西高等学校同窓会
編集 齊藤 薫
題字 町田 晃
印刷 同窓会報編集委員会
電話 053(456)0662
デザインルーム・スカイ

発行部数 17,300部
浜松二中卒業生 2,041名
浜松西高卒業生 26,239名
(内女子6,228名)
内4年度卒業生242名(116名)

本校は、1924(大正13)年に静岡県



創立百周年記念事業 実行委員長/同窓会長
齊藤 薫(高23回卒)

100年の歴史と伝統を土台に
「次の100年」につなげてゆ
きます

百周年記念事業のため
募金のご協力を!
同封の募金趣意書をご覧ください
だき、応援を心よりお願い致
します。

本校は、1924(大正13)年に静岡県
立浜松第二中学校として開校し、19
48(昭和23)年に静岡県立浜松第二高
等学校、1949(昭和24)年に静岡県
立浜松西高等学校へと改められ、来る
2024(令和6)年に創立百周年とい
う記念すべき節目を迎えます。

この誇るべき百周年を盛り上げるべ
く、学校、同窓会、後援会、PTAが一体
となって実行委員会を立ち上げまし
た。100年という歴史と伝統は、すな
わち3万人に迫る卒業生、一人一人の
活躍の軌跡でもあります。実行委員長
を務めさせていただく重責に、身の引
き締まる思いです。

実行委員会では、校訓である「知・
仁・勇」を将来にわたり体現する人材
の育成、また同窓生と在校生の連携を
深めていく目的のもと、様々な記念事
業を実施してまいります。

記念事業の一つとして計画していま
すのが、「浜松西高海外フィールドス
タディ基金創設」です。

当地域からASEAN諸国で事業
を展開している企業・先輩への訪問・
研修の機会を、在校生に提供していま
ります。

この研修が、進学で一旦当地域を離れ
ても戻ってくるきっかけになればと
思っております。

他の記念事業につきましても、本
ホームページにて紹介してまいります
ので、是非ご覧ください。

100年の歴史と伝統を土台に、本
記念事業が次の100年に向けてのス
タートとなりますよう、皆さまからの
一層のご支援・ご協力をお願い申し上
げます。

次回の百年に挑戦する浜松西高をみ
んなで応援していきましょう。

多くの皆様の賛同を得て継続して
支援ができる基金になりたいと思いま
すので、皆さまのご協力をお願いいた
します。

「海外フィールドスタディ」が
永く続くよう皆さまのご協力
をお願いいたします

後援会長 鈴木 俊宏(高29回卒)

2024年(令和6年) 11月20日に
浜松西高は創立百周年を迎えます。

学校・同窓会・後援会・PTAは、創立
百周年記念事業 実行委員会を組織し
て記念事業の準備を進めております。

記念事業の一つに「海外フィールドス
タディ基金創設があります。」「やらまい
か精神」が根付いた浜松には、浜松を誕
生の地とする多くの企業があり、海外に
進出して世界を舞台に活躍しています。

この基金を活用して海外で活躍し
ている企業がどのように現地に溶け込
み企業活動を進めているか、教室では
決して味わうことができない現実(リ
アル)に高校生の皆さんに触れていた
だきたいと思います。

多くの皆様の賛同を得て継続して
支援ができる基金になりたいと思いま
すので、皆さまのご協力をお願いいた
します。

次回の百年に挑戦する浜松西高をみ
んなで応援していきましょう。



創立百年の重みを感じながら、卒業生の皆さまとともに「百周年」をお祝いたします

校長 持山 育央



私は本校に、平成9年4月から平成16年3月まで、7年間勤務してまいりました。20年振りにこの西山台に上って感じるの、この地に充滿した独特のエネルギーです。これは、中高6学年1、200人の生徒と約100人の教職員や、保護者、地域住民の皆さまに加え、何よりもこの地を巣立ち社会の随所で活躍されている卒業生の皆様のエネルギーの集大成です。この場の充実感、は、卒業生の皆様が、未永く母校と後輩たちに関心を寄せてくださるおかげだと、深く感謝しております。

今年4月には、同窓会、後援会、PTA、学校による実行委員会が立ち上がり、百周年記念事業が具体的に動き出しました。記念式典、記念講演に加え、「海外フィールドスタディ」、「新スクールソング」などが検討されています。本校の新たな百年の幕開けにふさわしい、生徒たちの飛躍の足掛かりとなる事業になることを期待いたします。

私の手元に、大正12年11月20日付け官報第3374号の写しがあります。

ここに、「静岡県立濱松第二中学校ヲ同縣濱松市ニ設置シ大正十三年四月ヨリ開校ノ件許可セリ 大正十二年十一月二十日 文部大臣 岡野敬次郎(抜粋)」と掲載されています。本校の創立記念日は、この設置許可日としています。創立百年の重みを感じながら、皆様とともにお祝いしたいと思います。今後とも変わらぬ御支援を、どうぞよろしくお願い申し上げます。

今までの100年に感謝し101年目のバトンをしっかりとつないでいきます

PTA会長 宮地 完登(高49回卒)



本年度PTA会長を務めています宮地と申します。私自身も本校卒業生(高49回)です。保護者として再び西高に関わるようになり、少しでも生徒たちの成長の役に立てればという想いからPTA活動に取り組んでいます。

西高創立100周年ということで、西高PTAの歴史について少し調べてみました。資料を見ると、1947年(昭和22年)9月19日にPTA結成式が挙行されています。終戦が1945年(昭和20年)8月15日ですので、終戦からおよそ2年後ということになります。

す。世の中の価値観が大きく変わるタイミングで西高PTAも誕生したようです。

それからおよそ76年が経ち、世間一般には「PTA不要論」というような主張もあることを私も承知しています。時代と共に様々なものが見直されていくことは当然のことだと思います。ただ、この西高PTAに関しては素晴らしい形で活動が受け継がれていると感じています。学校と家庭、先生方と保護者が密に手を取り合って生徒たちの成長を支えていく、この体制がいまだに脈々と受け継がれています。この活動が良い形で継承されていき、生徒たちの学校生活を支える一助となるよう101年目のバトンをしっかりとつないでいきたいと思っています。



2023年新春の集いを3年振りに開催することができました。感謝いたします

代表 尾上 定(高54回卒)



皆様方のご支援ご指導のおかげで、3年ぶりの新春の集いを無事に開催することができました。新春の集いに関わっていただいた全ての関係者の皆様に感謝申し上げます。コロナによる影響が残る中、また久々の開催ということもあり、至らぬ点も多々あったかと思いますが、ご容赦くだされば幸いです。私たちは、一年間の活動を通して、地

元浜松で、さらには日本全国、世界各地の様々な業界・分野で活躍されている同窓生の存在を知りました。そして何より「西高愛」溢れる同窓生との数々の出会いを通して、私たちは母校に対して、よりいっそうの誇りを感じ、このご縁に感謝の気持ちを強く持つようになりました。このご縁は今回の活動で終わりではなく、高54回一同、今後も深く永く同窓会活動に関わることで、当地域の活性化に貢献していきたいと思います。

今回の新春の集いが皆さんにとって前に「進む一つのきっかけになったのなら幸いです。



2023年 新春の集い 収支報告書

(単位:円)

収入の部	科目	金額	摘要
	広告売上	9,315,505	広告 432件
	チケット売上	2,963,422	チケット枚数 371枚
	本会計繰入金	2,100,000	本会計より活動費として繰入
	雑収入	48,000	恩師・来賓よりご祝儀
	預金利息	37	預金利息
	合計	14,426,964	
支出の部	科目	金額	摘要
	会場費	4,210,597	グランドホテル会場費等
	印刷費	1,723,590	記念誌、チケット
	会議費	1,379,324	幹事会、部会経費等
	通信費	710,661	各種案内、記念誌郵送代等
	事務費雑費	51,119	文具、振込手数料等
	交際費	499,306	同窓会、懇親会等
	渉外費	2,470,476	クライアントとの打合せ等
	その他	528,000	記念品製作
	本会計繰入金	2,853,891	活動費返金及び繰入金
	合計	14,426,964	

上記の通りご報告申し上げます。

静岡県立浜松西高等学校 代表幹事 尾上 定 (印)
第54回卒2023新春の集い幹事会 会計 藤井 哲男 (印)

上記の通り正確に処理され適正と認めます。

令和5年4月11日 会計監査 前田 米藏 (印)
会計監査 大塚 哲雄 (印)

第55回 活躍する同窓生

「2024年新春の集い」はコロナ禍以前の従来の形で開催！

本活動にご理解ご支援ご協賛いただける皆様につきましては、例年以上のご指導ご協力をお願い申し上げます。

代表 足立 貴之（高55回卒）



2024年新春の集い代表幹事の高55回卒足立貴之と申します。

浜松西高の創立100年を来年に控えまして、コロナ禍以前の従来の形で開催となることを心よりお慶び申し上げます。

本会は、同窓生、ご支援ご協賛をくださる皆様に支えられ歴史を環らせて（めぐらせて）きました。

高54回卒を幹事年とした2023年新春の集いも、コロナ禍における制約の中でも盛会に終わり、本会が今後も持続的に発展していくことを確信しました。

2024年新春の集いでは、甲子園出場をはじめ運動部、文化部ともに大活躍した高34回卒の先輩方の還暦をお祝します。

「感謝」を胸に、次代へ続く式典とすべく「誇り」を持って歩みを「進めて」ま

いります。

さて、2024年新春の集いのメインテーマですが、循環の「環」、環境の「環」と書きまして「環めぐる」です。

創立100周年を目前にした99周年にあたる開催として、全ての関係者と環境に感謝をし、この素晴らしい歴史の循環を環らせてめぐらせていくという想いを込めました。

本学はコロナ禍でも歩みを止めず、環境の変化を乗り越え、絆は深まり、それは新たな彩りと多様性を生み出しました。

全ての同窓生およびご支援いただいている皆様への感謝を胸に、新たな歴史を環らせていきたいと思っています。

2024年新春の集い幹事学年である我々高55回卒ですが、約30名のメンバーにて活動を開始しております。

同窓生の繋がりの強さや、先輩方の西高への想い、地域社会の皆様のご期待を目的の当りにし、すでに感動の連続です。

卒業から約20年、本学の卒業生である誇りと責任に向き合えるこの素晴らしい機会を次代へ環らせてまいります。

高55回卒一同、皆様のご期待に沿えるよう努めてまいります。



また、ご支援ご協賛を心よりお待ちしております。

仕事・同窓会活動を通じて地域に貢献をしていく

副代表 市原 孝浩（高55回卒）



2024年新春の集い 副代表幹事の55回卒市原孝浩と申します。

私は現在、遠州鉄道㈱で運輸事業に携わっております。マイカー保有率が多く、今後高齢化が進展するこの地域において、いかに公共交通を維持していくかという課題に対して、行政やご利用者様と対話を重ね、将来のあるべき姿を模索しています。

また、会社の経営理念は「地域とともに歩む総合生活産業」として社会に貢献する」であり、仕事を通じて少しでも地域貢献ができればとの想いで日々働いています。

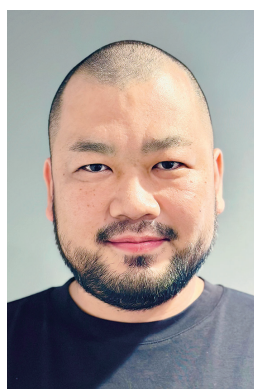
さて、同窓会活動に携わる中で、業種を超え、諸先輩方や同級生とのつながりが生まれ、母校のために活動ができることに責任と喜びを感じています。諸先輩方がそうであるように、我々高55回卒も、主にこの地域に残る者を中心に幹事活動を行っておりますが、活動を開始して1年、団結は強まり、新春の集い当日に向けた取り組みを加速させています。

仕事や同窓会の活動を通じて、個人

としては微力ながらもこの地域の発展に貢献していくことができたいと思います。

楽器の魅力の世界へ発信

副代表 湯口 謙太郎（高55回卒）



浜松市に本社のあるローランド株式会社という電子楽器メーカーで、ギター関連製品を扱うBOSBブランドのマーケティング・マネージャーとして勤務しています。製品の魅力をどのようにお客様へ伝えていくか、また自社のブランド価値をどのように高めていくか、海外のチームとも協力しながらマーケティング戦略立案や、プロモーションを行っています。

私自身幼少の頃から楽器を嗜んでおり、現役高校生の頃から西高同級生の仲間と共にバンドを結成し、卒業後も活動に励みました。良い仲間にも出会えただけでなく、音楽や楽器演奏の楽しさに魅了され、今の仕事にも繋がっています。

また高校2年生の時にはイギリスへの語学研修にも参加しました。様々な歴史背景や文化、考え方の多様性に触れることができ、自分自身の視野を広げることができました。今働いている

会社は社長がイギリス人、チームにもイギリス人が在籍、私自身も年に数回渡英することもあります。当時はまさかこんなに縁があるとは思いませんでした。

改めて振り返ってみますと、西高時代の経験が今の自分の基礎になっており、2024年新春の集いのテーマでもある「環めぐる」を自分自身で実感しております。同窓会幹事会では副代表として、記念誌・企画とホームページなどのデジタル管理を担当しています。55回卒の仲間と共に新春の集いを良き会にできるよう、誠心誠意頑張っていきます。

高55回卒新春の集いメンバー

高55回卒の幹事会は現在30名程で活動中です。56回卒、57回卒のメンバーも合流し、新春の集いに向けていよいよカウントダウンが始まっています。還暦世代の皆様のお祝いと共に、西高の絆を改めて実感していただける会にしたいと思います。2024年1月2日、新春の集いでお会いしましょう。



第47回浜松西高同窓ゴルフ大会が開催されました



2023年5月17日(水)、浜名湖カントリークラブにて同窓ゴルフ大会が開催されました。晴天の下、113人の卒業生がゴルフを楽しみました。ラウンド数は0.5競技方法は新ペリア、使用コースは中、浜名湖・潮見に別れて一斉スタート。1位は高28回の池谷吉正さん、2位は高40回の曾布川智さん、3位は高36回の藤田浩二さん、おめでとございます。また、次回も大勢の参加をお待ちしています。

令和4年度開校記念講演会が開催されました



日時
令和4年11月18日(金)

会場
西高体育館

演題
「コンフォートゾーンからライニングゾーンへ」

「サッカー日本代表選手の成長から感じたこと」

講師

小粥 智浩氏(高44回卒)

流通経済大学スポーツ健康科学部教授
プロフィール

専門はスポーツ医学、アスレティックトレーニング学であり学内ではサッカー部コーチ、ライフセービング部も受け持っています。また日本サッカー協会フイジカルフィットネスプロジェクトメンバー。2002年から2006年まで国立スポーツセンター(JISS)にて、オリンピック選手を対象にリハビリテーションや研究に携わりました。2006年から流通経済大学に赴任、現在に至る。2015年からサッカー日本代表のコンディショニングコーチとして育成年代の代表チームを中心にサポート。前回大会の2018年のロシアワールドカップにも帯同しました。

今回の講演では、在校生にスポーツを通して感じたことを熱く語っていただきました。一流選手とは、人のために自らを鍛え、救える命を守るために妥協しない心を持ついわば「ライフセーバー」であること。人を感じる気持ちが自分を後押ししてくれること。夢に向かってチャレンジをし、評論より行動を実践して欲しいと在校生に熱く語り、講演を終えました。素晴らしいお話、ありがとうございました。

還暦を迎えた先輩たちの言葉

還暦を迎えて「幸せな人生に感謝!」

久嶋 竜次(高34回卒)



西高を卒業して41年が経ちました。あの頃を振り返って思い出すことといえど：

●西高入学直後に毎日行われた昼休みの応援練習。このお陰で未だに校歌、応援歌を忘れることなくしっかりと最後まで歌うことができます。当時は貴重な昼休みを何でこんなことに使わなければいけないの?と思いつつ、応援団の諸先輩方が兎に角怖く、とてもサボることができませんでした。

●何と言っても3年生夏の甲子園。我々を甲子園に連れて行ってくれた野球部の同級生には本当に感謝しています。あの頃、毎年夏の野球応援がとても楽しみで、ほぼ応援席は浜松まつり状態でした。応援したかったのか、ただ騒ぎたかったのか、今となっては定かではありませんが、我々同級生にとっても、卒業された先輩方

にとっても、貴重な思い出になったことは間違いありません。

●そして何故か未だに忘れられない「オリジナル」(数学の問題集)と伊藤保先生のカード(基礎的な問題とその解き方が丁寧に書かれた沢山のカード)。保先生のお陰で数学を基礎からしっかりと身につけることができました。数学の面白さを知ることができました。未だにとても感謝しています。

●何よりも最高だったのは、毎日腹を抱えて笑い合えた多くの友達に出会えたこと。未だに彼らに会うと無条件に笑えます。

その後、大学でも楽しい仲間に出会え、卒業後も毎日ワクワクしながら楽しめる仕事にも就くこともでき、素晴らしい家族にも恵まれ、振り返ってみると本当に幸せな人生だったなあ、と感じます。

還暦とは自分が生まれた年の干支・十干に還るという意味のようです。自分自身が還暦を迎えるにあたり、これまで幸せに生きてこられたこととそれを与えてくれた多くの方々に心から感謝し、周りの人々に一人でも多く幸せな気持ちになつてもらえるように、ふた廻り目の人生を使っていきたいと思っています。

還暦年34回卒、みんなで新春の集いに集まれ!

同会場別室にて2次会を開催予定。
QRコード先のサイトで暫定出席確認を行なっています。

34回幹事会



仲山計介氏(高19回卒)紺綬褒章を伝達 浜松市美術館に絵画寄贈

2021.11.10 静岡新聞記事より



「褒章の記」を手にする仲山さん
=浜松市役所

紺綬褒章を授与された日本画家仲山計介さん(浜松市中区出身、東京在住)に当時の鈴木康友市長が2021年11月9日に褒章と章状「褒章の記」を手渡した。「浜松に生まれたありがたさを感じた。企画展を開いていたので、寄贈まで受け入れてくれた。」と喜びを語った。

お悔やみ申し上げます

那須田稔氏(高3回卒)

2023年7月11日 逝去

2023.7.14 東京新聞より

浜松市在住の児童文学作家、享年92歳。1965年「シラカバと少女」で日本児童文学者協会賞。1967年「おとぎばなし」シリーズで毎日出版文化賞。1988年から「忍者サノスケじいさん」シリーズを書き続けた。1978年ひくまの出版を創業。



1978年ひくまの出版を創業。

クラブ活動報告

全国高校野球選手権静岡大会
浜松西高校7-3 焼津中央高
校(7/15 10:00 焼津球場)



蝉の鳴き声が夏を告げている中、浜松西高校野球部の夏の戦いが始まった。初戦は7月15日に焼津球場で行われた焼津中央高校との一戦。雨で一週間延期になったにも関わらず、大勢の生徒が球場に駆け付けた。

応援団のボルテージが上がる中試合が始まると、まず試合の主導権を握ったのは西高だった。二回裏、4番の栗田優太郎がライトへのツーベースを放つと、エラーの間に得点を挙げ1点を先制する。しかしその直後、先発の佐藤湧和が四球を許すとコソコソと塁を進められ、エラーの間に生還。1-1の同点となる。

を相手に渡さなかった。4回に主将の小林優士がヒットで出塁するとチャンスを広げ、6番の加藤駿星のセカンドゴロの間にホームに還り勝ち越すと、次の回には先発の佐藤に本塁打が飛び出すなど2点のリードに成功する。ここから両チームの投手の好投もあり試合は膠着状態に。ダメ押しとなる得点が欲しい西高は8回にエラーとヒットでチャンスを作り、ここで骨折からの復活を遂げた打の切り札・進士且基のカードを切る。この起用に応えた進士。二者生還のタイムリーツーベースを放ち塁上でガッツポーズ。スタンドの応援団も大きな歓声を上げた。その後のバッターも続くなど一挙4得点となり理想的な攻撃となった。

そして迎えた9回、先発の佐藤がマウンドに向かう。完投なるかと思われたが、相手打者の粘りと制球の乱れもあり1点を許し、なおも一死満塁のピンチ。ここでベンチが動き、投手交代で鈴木太智がリリーフに向かう。目前に迫った勝利まであと少しだというスタンドからの激励を受けマウンドに立つと、暴投で1点を失いながらも2奪三振の好救援。7-3で西高が勝利し、マウンドとスタンドに歓喜の輪が広がった。

また、この日は不安定な天候で試合中何度も雨に降られたが、応援の熱量は一向に冷めることなく選手を鼓舞し続けた。試合後に選手に話を聞くと「応援が大きな力になった」と答える人が多かったのがとても印象的だった。今後も選手が実力以上の力を発揮できるように、全校で支えていきたいと強く実感する一戦となった。

12年ぶりに東海大会に出場

百人一首部 藤田 信行 (高50回卒)

創部から34年目、5月下旬に行われた静岡県大会で初めて優勝。併せて、小倉百人一首競技かるた第45回全国高等学校選手権大会(団体戦)への5年ぶり2回目の出場を決めることができた。チームを牽引するのは、主将の澤村夢菜(高2、四段)と副将の澤村花菜(高3、参段)の姉妹です。小学生のとき

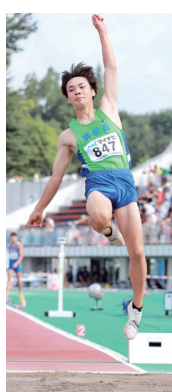


から地元浜松のかかるた教室で技を磨き、本校の百人一首部で全国を目指したいと入部してきました。二人は、8月に鹿児島県鹿児島市で行われる第47回全国高等学校総合文化祭の静岡県代表に選ばれています。選手8名の内、三将の西岡和奏(高3、参段)をはじめ

とする6名は入部してから競技かるたを始めました。高校から新しいことに挑戦をしてきた集大成と言える大会でどのような活躍を見せてくれるのか楽しみです。

全国高校総体陸上競技大会に出場して

陸上競技部 奥澤 真 (高2年生)



8月上旬に北海道・厚別陸上競技場で行われた全国高校総体に出場した。走り幅跳び予選を7位で通過し、決勝は9位という結果に終わった。

率直な感想としてはただただ悔しい。全体の記録を見ても、普段の自分の力が出せれば入賞はもちろん、優勝も狙える程のレベルであった。インターハイで結果を出すことの難しさを痛感した。また、県大会や地区大会との雰囲気の違いが印象に残っている。大一番にすべてをかける選手たちの熱気を感じた。私はまだ2年生で、来年もチャンスがあるため、比較的气が楽だったが、後がない3年生にはものすごい気迫があった。来年は自分がその立場になっていると思うと、少し怖い気持ちがあるが、インターハイという舞台を2年生で経験できたのは良かった。今回の経験を活かして来年こそは優勝したいと思う。

西高から33年ぶりに国体バレーボール競技に選手を輩出!

神谷 昌志 (高42回卒)



令和5年度特別国体バレーボール競技ビーチバレー種目少年男子の部に、本校高校1年生の金原康太が静岡県代表として出場することになりました。

全国ジュニア選手権県予選準優勝、中学からの経験も認められ、県内の優秀選手の中から選出されました。浜松城北工業高校の2年生とペアを組んで9月に鹿児島で行われる夏季国体に出場します。

彼は、私が運営する浜西バレーボールクラブでインドア6人制に加え、中学1年生からビーチバレーを始め、『二刀流』で力をつけてきました。さらに、浜松市のビーチマリンスポーツ推進事業計画もあり、小中学生に対する普及活動にも努めています。

西高からバレーボール競技で国体に選手が出場するのは1990年の田幡大輔(高43回卒)以来33年ぶりのことです。廃部から17年、西高バレー部の魂は不滅です。

浜松西高同窓会総会が
開催されました



2023年
6月3日(土)
16時から、グ
ランドホテル
浜松2階 孔
雀の間におい

て総会が開かれました。同窓会会長の
斎藤薫氏の挨拶、持山西高校長による
西高の学校行事や進学状況などの報
告がありました。議題は令和4年度の
同窓会事業報告、一般会計決算報告お
よび同監査報告、「2023年新春の集
い」事業報告とその決算報告、同監査
報告、令和5年度の同窓会事業計画、
会報編集計画、令和5年度一般会計予
算および「2024年新春の集い」事業
計画の発表と報告の承認がされまし
た。また、百周年記念事業の現在の概
要についても説明がありました。こち
らの情報公開については7月以降、W
EBサイトの開設を予定しております
す。併せて記念事業にかかる募金募集
もはじまりますので、その節は何卒ご
理解とご協力のほどよろしくお願いし
ます。

「2024年新春の集い」のメイン
テーマは「還(めぐる)」。創立100周
年の1年前として99周年にあたる開
催となります。浜松西高に関わる全
ての人と環境に感謝をし、この素晴らし
い歴史の循環を還らせてゆくといい
想いをこめました。どうぞよろしくお願
いいたします。

令和4年度 静岡県立浜松西高等学校同窓会一般会計
決算書

前期繰越金	18,397,166円	支出総額	5,252,030円
収入総額	5,759,253円	次期繰越金	18,904,389円

収入の部

(単位:円)

科 目	予算額(A)	予算額(B)	比較増減額(B-A)	備 考
前期繰越金	18,397,166	18,397,166	0	前年度繰越金
入 会 金	4,840,000	4,840,000	0	高75回卒業生 242名
基 金 利 子 配 分 金	160	160	0	甲子園出場記念基金利子配分金
繰 入 金	1,000,000	753,891	△ 246,109	新春の集い余剰金
雑 収 入	20,000	165,202	145,202	預金利子、同窓会名簿代等
合 計	24,257,326	24,156,419	△ 100,907	

支出の部

科 目	予算額(A)	予算額(B)	比較増減額(B-A)	備 考
事務費	900,000	1,122,363	222,363	
事務局費	800,000	988,284	188,284	事務局職員給与、光熱費他
需 用 費	100,000	134,959	34,959	複写機リース料等
会議費	450,000	405,377	△ 44,623	
総 会 費	300,000	222,680	△ 77,320	総会会議費
役員会費	150,000	182,697	32,697	役員会会議費他、香典、 弔電、御花代
事業費	3,550,000	3,723,410	173,410	
会 報 費	2,550,000	2,827,675	277,675	ホームページ運営費、会報印刷代・送料 会報編集委員会運営費等
助 成 費	1,000,000	895,735	△ 104,265	慰霊祭、激励費、西山賞、講演会謝礼 西山台チャレンジサポート事業等
次期繰越金	15,343,301	18,904,389	3,561,088	
合 計	20,243,301	24,155,539	3,912,238	

以上のとおり報告します。

令和5年3月31日 会 長 齊藤 薫
静岡県立浜松西高等学校同窓会 会 計 清水 孝彦

上記の決算について証拠書類、出納簿を精査したところ、
適正かつ正確であることを認めます。

令和5年5月9日 会計監査 前田 米蔵 ㊞
会計監査 大塚 哲雄 ㊞

令和5年度 静岡県立浜松西高等学校同窓会一般会計
予算書(案)

前期繰越金	18,904,389円	支出総額	4,900,000円
収入総額	5,760,160円	次期繰越金	19,764,549円

収入の部

(単位:円)

科 目	予算額(A)	令和3年度 決算額(B)	比較増減額(A-B)	備 考
前期繰越金	18,904,389	18,397,166	507,223	前年度繰越金
入 会 金	4,740,000	4,840,000	△ 100,000	高76回卒業生 237名 (高75回 242名)
基 金 利 子 配 分 金	160	160	0	甲子園出場記念基金利子配分金
繰 入 金	1,000,000	753,891	246,109	新春の集いの余剰金
雑 収 入	20,000	165,202	△ 145,202	預金利子、同窓会名簿代等
合 計	24,664,549	24,156,419	508,130	

支出の部

科 目	予算額(A)	決算額(B)	比較増減額(A-B)	備 考
事務費	1,150,000	1,123,243	26,757	
事務局費	1,000,000	988,284	11,716	事務局職員給与、光熱費
需 用 費	150,000	134,959	15,041	複写機リース料等
会議費	450,000	405,377	44,623	
総 会 費	300,000	222,680	77,320	総会会議費
役員会費	150,000	182,697	△ 32,697	役員会会議費
事業費	3,550,000	3,723,410	△ 173,410	
会 報 費	1,550,000	2,827,675	△ 1,277,675	ホームページ運営費、会報印刷代・送料 会報編集委員会運営費等
助 成 費	1,000,000	895,735	104,265	慰霊祭、激励費、西山賞、講演会謝礼 西山台チャレンジサポート事業等
	1,000,000			100周年実行委員会
予備費	0	0	0	
次期繰越金	19,514,549	18,904,389	610,160	
合 計	24,664,549	24,155,539	509,010	

※科目間の流用を認める

<https://hamanishi.org/>



浜松西高HPで百周年特設サイト、ま
た浜松西高同窓会のホームページ公式サ
イトからこれまでの同窓会報誌をご覧
いただけます。

PCやスマホで
西高同窓会HPを！

同窓生の活躍を
お寄せください！

卒業生の活動の様子を
浜松西高同窓会のホーム
ページ、次号の同窓会報に
てご紹介しますので、お
気軽にご連絡ください。
同窓会事務局は祝日を除
く毎週火曜午前10時〜12
時までは事務員の高野さ
ん、山口さんが応対しま
す。それ以外はファック
ス、メールまたは留守番
電話に、連絡先とメッセー
ジを録音してください。

郵送
連絡先

〒432-8038 浜松市中区西伊場町3-1
▶TEL&FAX… 053-456-0662(同窓会専用)
▶E-MAIL …… hama24@hamanishi.org

暫定版

令和4年度(令和5年4月進学) 入試結果概要

2023/4/30 現在

1 入試合格状況(推薦、AO等含む)

	令和5年度			令和4年度			令和3年度		
	現役	卒	合計	現役	卒	合計	現役	卒	合計
国公立大	121	16	137	125	8	133	122	17	139
私立四大	612	69	681	617	54	671	671	111	782
国公私立短大	2		2		1	1	1		1
管外大・学校	1		1		1	1		1	1
各種専門学校	4	2	6	6	6	6	6	1	7

2 国公立大学

大学名	令和5年度			令和4年度			令和3年度		
	現役	卒	合計	現役	卒	合計	現役	卒	合計
北見工業大	1		1				1		1
室蘭工業大									
帯広畜産大	1		1						
北海道大	1		1	8		8	1	1	2
弘前大									
岩手大									
東北大	5		5	1		1	1		1
宮城教育大									
秋田大	2		2	2		2	1		1
茨城大	1		1	3		3	1		1
筑波大	4		4	3		3	3	1	4
宇都宮大									
群馬大				1	1	2			
埼玉大	1		1				1		1
千葉大	1		1	2		2	3	1	4
お茶の水女子大	1		1				1		1
東京大	1	3	4	2		2	3	1	4
東京医科歯科大									
東京外国語大	3		3	1		1	4		4
東京学芸大				2		2			
東京芸術大	1		1						
東京工業大	3		3	1		1	1	1	2
東京海洋大	1		1				1		1
東京農工大	1		1				1		1
一橋大	2		2	4		4	3		3
電気通信大	1		1	1		1			
横浜国立大	2	1	3	7		7	1		1
山形大	1		1						
福島大									
新潟大	1		1				1		1
金沢大	4	1	5				2		2
福井大				1		1		1	1
富山大	1		1						
山梨大	2		2				2	1	3
信州大	4	2	6	1		1	2	1	3
静岡大	17	1	18	18	2	20	11	1	12
浜松医大	2	2	4	5		5	11		11
愛知教育大	1		1	1		1	2		2
豊橋技術科学大							1	1	2
名古屋大	3	1	4	7	1	8	10	2	12
名古屋工大	3		3	1		1	3		3
岐阜大	2	1	3	3		3	3		3
三重大				4		4	2		2
滋賀大	2		2				1		1
京都大	2	1	3	4		4	4	1	5
京都工芸繊維大				1		1	2	1	3
京都教育大				1	1	2			
大阪大	4		4	3		3	1		1
大阪教育大									
神戸大	2		2	2		2	1		1
奈良教育大									
奈良女子大							1		1
和歌山大	1		1	2		2	1		1
岡山大								1	1
広島大	6		6	2		2	4		4
鳥取大									
島根大							1		1
高知大									
徳島大							1	1	2
香川大				1	1	2			
愛媛大									
九州大	1		1	1		1			
九州工業	1		1				1		1
長崎大							1		1
宮崎大				1		1			
鹿児島大									
鹿児島大									
琉球大	1		1				2		2
琉球大									
青森県立保健大									
国際教養大	2		2						
会津大	1		1				1		

横浜市立大	2		2	2	2	3	3		
富山県立大						1	1		
金沢美術工芸大									
石川県立大									
都留文科大	1		1	3	3	2	2		
長野県立大			1	1					
長野県立看護大			1	1					
岐阜薬科大									
静岡県立大	6	1	7	7	1	8	5	2	7
静岡文化芸大	1		1	1		1	2		2
静岡県立大農林環境専門職	1		1						
名古屋市立大	1		1	3	3	2			2
福井県立大	1		1						
敦賀市立看護大	1		1						
京都府立大									
京都府立医科大				1	1				
京都市立芸術大									
大阪公立大(府市合併)	2	1	3	1	1				
兵庫県立大	1		1			1			1
福知山公立大	1		1	1	1		1		1
和歌山県立医科大							1		1
県立広島大				1	1				
広島市立大						2			2
尾道市立大				1	1				
北九州市立	1		1						
福岡女子		1	1						
長崎県立大				1	1				
宮崎公立大						1			1
宮崎県立看護大	1		1						

3 私立大学(抜粋)

	令和5年度			令和4年度			令和3年度		
	現役	卒	合計	現役	卒	合計	現役	卒	合計
慶應義塾大	9	3	12	5		5	9	5	14
早稲田大	9	2	11	21		21	21	1	22
明治大	25	6	31	26		26	24	7	31
立教大	15		15	15		15	7		7
法政大	17		17	10	1	11	18	2	20
同志社大	23	2	25	26		26	17	2	19
立命館大	92	10	102	57	4	61	55	19	74
関西学院大	12	3	15	7	2	9	11		11
関西大	19	1	20	5	2	7	21		21
近畿大	16	3	19	25	6	31	23	10	33
上智大	3		3	8		8	8		8
中央大	19	3	22	20	1	21	24	20	44
青山学院大	11	2	13	17		17	9	2	11
東京理科大	22	8	30	11		11	15	3	18
芝浦工大	5	3	8	9		9	5	4	9
東京農大	5	1	6	3		3	10		10
明治学院大	6		6	7		7	2		2
日本大	12	4	16	23	4	27	7	1	8
東洋大	7		7	25		25	8		8
駒澤大	5		5	12	1	13	7		7
専修大	5		5	7		7	10		10
常葉大	27		27	12	1	13	26		26
聖隷クリストファー大	9	1	10	8		8	8	2	10
南山大	25	3	28	13		13	18	4	22
名城大	25		25	35	4	39	21	8	29
中京大	13		13	17		17	29		29
愛知大	13		13	4		4	21	1	22
愛知学院大	2		2				4	1	5
藤田医科大	3		3	5		5	1		1
獨協大	1		1				5		5
成蹊大	6		6	3		3	7	1	8
成城大				3		3	3	1	4
学習院大	1	1	2	7		7	3		3
北里大	10		10	3		3	8		8
国際基督教大							3		3
順天堂大	3		3				5		5
東海大	10	2	12	6		6	9		9
津田塾大	1	1	2	4		4	5		5
東京女子大	3		3	5		5	2		2
日本女子大	1		1	1		1	3	1	4
神奈川大	9	2	11	10		10	16		16
岐阜聖徳学園大				1		1	1		1
豊田工業大	4		4	2		2	1		1
京都女子大				3	2	5	4		4
同志社女子大	6		6	5		5	3		3
龍谷大	33		33	16	4	20	2		2

4 医学部及び管外大学校等

||
||
||

西山賞受賞者

西山賞とは「全国レベルで特に優れた業績・功績を挙げた生徒」に対して、4部門(文化芸術部門、スポーツ部門、善行部門、科学部門)に同窓会から卒業時に授与されるものです。

中等部

●スポーツ部門

▼女子テニス部
団体6人

▼陸上部

三浦 想空(男子棒高跳)

●文化芸術部門

▼弦楽部

団体19名

▼作文コンクール

宮本 諒太郎
(作文コンクール 内閣総理大臣賞受賞)

高等部

●スポーツ部門

▼ボート部

原田 和季(舵手付きクオドルブル)

松島 花穂(舵手付きクオドルブル 他)

佐藤 柁(舵手付きクオドルブル)

阿部 真奈(舵手付きクオドルブル)

▼陸上部

山下 然(男子三段跳 他)

甲斐 誠二郎(男子4×400mリレー)

村松 晃成(男子4×400mリレー)

鈴木 智也(男子4×400mリレー 他)

長坂 夏実(女子走高跳)

▼水泳部

柴田 大輝(男子4×100mフリーリレー)

山田 茅帆(女子100m自由形 他)

●文化芸術部門

▼弦楽部

団体12名

▼国際文化部

団体4名(英語ディベート大会 他)

▼百人一首部

団体6名(全国高校生かるたグランプリ)

▼百人一首部

佐藤 颯星(小倉百人一首かるた部門)

中山 孝生(かるた大会読手コンクール)

▼将棋部

平 光太(将棋新人大会)

叙勲おめでとうございます

令和4年の秋の叙勲を受章した卒業生をご紹介します。同期、先輩後輩を問わず情報をお寄せ頂けると大変助かります。

令和4年秋叙勲

●瑞宝小綬章

▼警察功労

松山 まつやま 和弘(高17回卒)

元静岡警察本部警備部長



サッカー部西北定期戦

意地と誇りを懸けた伝統の西北戦が復活!



2023年8月6日(日)、浜松西高校と浜松北高校の現役サッカー部員とOBの方々が集まり伝統の定期戦「西北戦」が、遠州灘海浜公園球技

場で行われました。

当日の朝は雷で開催自体があやぶまりましたが、天気も回復し一部スケジュールの変更はありましたが無事開催する事ができました。コロナ感染拡大の影響で中止や規模縮小しての開催を余儀なくされてきましたが、4年ぶりの通常開催の形に復活。中部・高校の現役部員のみならず、そして若手から80代までOBが数多く集まり、世代を超えて楽しくサッカーを楽しみました。現役のころから「ライバルとして負けたくない」と切磋琢磨をしてきた、浜松北高校との今でも続く意地とプライドをかけた熱い戦いが繰り広げられました。

両校の絆を象徴する西北戦も、来年は記念すべき50回記念大会を開催予定です。これからもこの伝統の試合の継承と、我が浜松西高校サッカー部の活躍と発展を心より願っております。

全てのひとと環境に感謝をし、この素晴らしい歴史の循環を環らせていく。

HAMA



99th

NISHI



ANNIV.

浜松西高55回卒同窓会幹事会

2024年
新春の集い

2024年メインテーマ
「環(めぐる)」

【主催】静岡県立浜松西高等学校同窓会

2024年新春の集いのメインテーマは、循環の「環」、環境の「環」と書きまして「環(めぐる)」です。今回は創立100年を目前に控えた、99周年にあたる開催となります。浜松西高に関わる全てのひとと環境に感謝をし、この素晴らしい歴史の循環を環らせていくという想いを込めました。

2024
1.2 Tue.

受付14:00～ 開会15:00 グランドホテル浜松 鳳の間
静岡県立浜松西高等学校同窓会 同窓会長 斉藤薫／幹事会代表 足立貴之(高55回卒)

Ticket

電子チケット、紙チケットの2種類を販売します【定員:750名(予定)】
高1回～高55回 8,000円 高56回以降 5,000円

チケットの詳細やお申込はこちらから



静岡県立浜松西高等学校同窓会 高55回卒幹事会 〒432-8038 静岡県浜松市中区西伊場町3-1
TEL.050-3570-0118(朝倉) 050-3593-3225(市原) hamamatsunishi55@gmail.com

当日の詳細、過去の記念誌はホームページをご覧ください。
【2024年新春の集いHP】<https://hamanishi-shinshun.com/>

